科目名	スポーツトレーナーの役割						年度	2024	
英語科目名	Role of the sports trainer						学期	前期	
学科・学年	スポーツトレーナー科 1年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	内田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 (公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの起源や背景に基づき、設立趣旨・位置づけを理解します。また、具体的な役割からアスレティックトレーナーの社会的立場と貢献・倫理についても理解します。スポーツトレーナー(スポーツ指導者)の役割と主な業務内容を十分理解します。									
【科目の概要】 アスレティックトレーナーとは何かを学び、コーチやスポーツドクターとの連携、組織の運営と管理などアスレティックトレーナー業務全般について学びます。									
【到達目標】 A. JSP0-ATの理解 B. 求められるJSP0-ATの役割 C. スポーツ指導者としての理解									
【授業の注意点】 スポーツトレーナーとしてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。「現場実習」と併せて学習することで、より理解力が増すので積極的に実習に取り組む事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている	レベル2 ふつう	レベル1 もう少し						
到達目標 A	JSP0-ATの全体像を十分に理解し、自身のキャリアと併せて考えられる	JSP0-ATの全体像を十分に理解できた	JSP0-ATの全体像を理解できた						
到達目標 B	JSP0-ATに求められるレベル等、客観的に分かり、自主的に学ぶ姿勢がある	JSP0-ATに求められるレベルが理解で、自身のマインドセットができた	JSP0-ATに求められるレベルが理解できた						
到達目標 C	スポーツ指導者であると十分に理解で、自身を指導者へなるべく意識が強く持てる	スポーツ指導者であると十分に理解できた	スポーツ指導者であると理解できた						
【教科書】 JSP0-AT教本									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 レポート・平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スポーツトレーナーの役割			年度	2024
英語表記		Role of the sports trainer			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要	JSP0-ATの理解	1 ATとは	JSP0-ATの理解	1	
2	資格制度	ATに関わる資格	1 JSP0-AT	カリキュラムの理解	1	
			2 その他資格	ATに類似する資格の理解		
3	ATの歴史	JSP0-ATの歴史	1 JSP0の資格	JSP0公認スポーツ指導者制度の理解	1	
			2 JSP0-ATの歴史	JSP0-ATの歴史と変貌		
			3 JSP0-ATの役割	JSP0-ATの役割		
4	諸外国のAT	AT活動	1 諸外国のAT	諸外国のATに相当する資格・業務内容の理解	1	
5	ATの任務と役割	AT活動	1 活動事例	競技別活動	1	
代表での活動				1		
育成年代での活動				1		
その他活動						
8	コーチとの連携-協力	AT活動	1 活動事例	活動事例を基に理解する	1	
9					1	
10	ドクターとの連携-協力	AT活動	1 活動事例	活動事例を基に理解する	1	
11					1	
12	組織運営と管理	AT活動	1 活動事例	活動事例を基に理解する	1	
13					1	
14					1	
15	ATの倫理	AT活動	1 倫理	教本での解説・事例を基に理解する	1	
			2 法律			
			3 ハラスメント			
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						